

☆☆



潤徳小HP
QRコード ←

山都町立潤徳小学校 学校だより (両面印刷)

狭霧 (さぎり) の朝

令和5年1月30日(月) 第55号

校長 池部 聖吾智 (みわとも)

☆☆

事件は会議室で起きてるんじゃない！ 現場で起きてるんだ！！

授業編1

これは、かつての大ヒット映画「踊る大捜査線」(1998年)の織田裕二さん演じる青島俊作刑事の名セリフで流行語にもなりました。私も校長室に閉じこもりっぱなしでなく、校内(現場)を周ります。※校長室が寒すぎるのも理由？(笑)先週は、本校3年生に私が授業する機会が多くありました。本通信第51号でも述べていましたが、最近では漫才を意識した授業を個人的に研究しています。子どもの発表場面では、発表を聴いている子には「(発表者に)ツッコミを入れる」よう指導しています。もちろん発表者はそのツッコミに答えなければなりません。そうすることで、発表者・聴く者どちらも鍛えられます。

一番大切にしているのは、「子どものつぶやき」を聞き漏らさず、授業のネタにしていくことです。特に、先週の「マナー」の道徳授業は楽しさ満載でした。途中で一瞬国語の授業に変化する場面があったのです。著作権の関係で絵を掲載できないのでわかりにくいのですが、エスカレーターで右側にいる高年齢の男性と子どもに対して男性が何かを言っている図を見せました。さんは「おじいちゃんに譲りなさい」と言ったと発表したのですが、「譲りなさい」を子に言ったのか、おじいちゃんに言ったのかについて、周りの子からツッコミが入りました。説明を改めて聴くと、さんは「譲りなさい」と言った人がその子の親だと見たのです。「なるほど〜！」子どもから学ぶことは多いです！実に柔軟な発想をします。私は、授業での子どもたちからの予想外の反応を楽しんでいます。

三年生授業の続編です。本通信第54号で「国語辞典に書いてある内容を自分で難しい現実を知りました。昨年まで中学校教師の難しかった潤徳小学校に来てたくさんの事を学ばせていただきました。運動会の校長挨拶では、元小学校教師の叔母に、「中学生向けの挨拶だね」と酷評されました(苦笑)。「子どもたちの握手表現力を身につける」これが今の最大の課題です。26日は益城町へ小学校二年生算数の授業を見に行きましたが、低学年の子どもの授業のあり方について学ぶことができました。

国語辞典に書いてある内容自体が難しい

授業編2

ぜひ、日野市立潤徳小学校のHPもご覧ください！

1/27付(日野)潤徳小HPブログでは、斉藤校長先生から、本学校だよりを絶賛していただき、さらに自らも持久走月間の練習に参加したという記述がありました！※右



写真：出典(日野)潤徳小HP。児童と一緒に走る斉藤校長先生。日ごろから本校HPをこまめに見られていることがうかがえます。「こんなに意気投合できる校長先生と出会えるとは、私は何と幸せな人間だ！」とつくづく思います。東西潤徳小コラボも、これから“実動”に入っていきます。特にコラボ実施日の前後には、両校HPをセットでご覧ください！

2月行事予定

日	曜	給食	行 事	日	曜	給食	行 事
1	水	○	フッ素うがい 安全点検 校内研修	16	木	○	読書タイム ALT来校
2	木	○	ALT来校	17	金	○	
3	金	○	読書タイム ALT来校	18	土		
4	土			19	日		
5	日			20	月	○	低学年暗唱日 職員夕会
6	月	○	職員夕会	21	火	○	司書教諭来校 読書タイム(読み聞かせ) 委員会活動
7	火	○	司書教諭来校 読書タイム 委員会活動	22	水	○	フッ素うがい 中学年暗唱日 校内研修
8	水	○	フッ素うがい 校内研修	23	木		天皇誕生日
9	木	○	ALT来校 巡回図書	24	金	○	読書タイム ALT来校 高学年暗唱日 授業参観(道徳)
10	金	○	読書タイム ALT来校	25	土		
11	土			26	日		
12	日			27	月	○	学力検査 職員夕会
13	月	○	職員夕会 命の学習旬間	28	火	○	司書教諭来校 SC来校 読書タイム 学力検査
14	火	○	司書教諭来校 読書タイム 知能検査 クラブ活動(ストーンアート)				
15	水	○	フッ素うがい 新入児体験・会議				

潤徳抄

先週は両校長間で「特定保健指導」ネタで盛り上がった。今年度の私は今までと明らかに違う。自身の成長を実感したのだ▼特に自身の体重管理をある程度コントロールできるようになったことは大きい。実は、週に何回か三ヶ夕に戻ることがある。しかし、その際には意識して運動を自身に課すようになった。また、シャツを着たら何グラム増え、歩いたら、排便後には何グラム減る・などの目安もわかってきた▼加えて17日、高学年向けに行われた生活習慣病予防のための出前授業もタメになった。私自身もおつまみを買うときや食べるときに裏のカロリー表示を見て調整するようになった。アルコール摂取量の調整も習慣となった。何事も持続可能な方法で実践することがポイントである▼(日野) 潤徳小の斉藤校長先生は、(日野) 潤徳小HPにおいて「潤徳抄(本コラム)は、私のプライベート満載の『攻めた記事』とコメントされていた。「ナカナカ鋭いな」と思った▼本コラムは私自身のこと、そしてホンネを語る場所と位置づけている。(読者に) 私自身を知ってもらう」と言い換えてもいいだろう。これは、私自身がこれまでの人権教育で学んできたこと(自身を語る)であり、担任時代からずっと大切にしてきたことである▼実際「(学校だよりの中で) 本欄が一番おもしろい」と言ってくださる方も多いようだ。この十ヶ月で私という人間を少しはわかっていただけたなら望外の喜びだ。

